

環境にやさしいまちを訪ねて

市民海外派遣研修報告①

今年の市民海外派遣研修は、「環境にやさしいまちづくり」をテーマに実施され、公募の市民8名が参加しました。今回の研修地はドイツ、フランスで、9月24日から10月1日までの8日間の日程で行われました。

今号から3回にわたり、参加者のリポートの要旨をご紹介します。



フランスの農家で民宿



田名さん



神蔵さん



フランスの街並み

田舎でグリーンツーリズム

和田 日郎 (田島)

フライブルグでのグリーンツーリズムの体験は、大変素晴らしいと感じました。グリーンツーリズムとは、ヨーロッパの民家に泊まって長期間のバカンスを過ごすというものです。黒い森に囲まれてゆっくりと過ごす時間の流れ、全て民家の奥さん手作りの朝食など、たった一晩の宿泊でしたが田舎の生活の一端が分かりました。



和田さん

ここは、放牧のため森が切り開かれ、草原と集落の点在する独特の景観がきれいな所です。ここで、ヨーロッパの人たちが二週間から一か月くらいバカンスを過ごす。

こうしたバカンスの過ごし方は、もしかしたら政策的に誘導されてきたものかもしれません。が、結果として田舎の活性化が促進され、過疎化に歯止めがかかり、その地の環境が守られれば見事な政策といえます。日本でも応用できそうです。

今回のドイツとフランスでの研修は非常に短いものですが、このような社会の姿が長期的

外から新津を見つめ直す

本文 文野 (下野野町)

ドイツのフランクフルト、フライブルグ、フランスのミュルーズ、ストラスブール、パリと二か国五都市を訪れたが、どの都市でも学ぶことが多く、意義深く充実した日々を過ごした。フランクフルトでは、早朝の移

れや土手の廃棄物の様子を眺めたり、計画的なレクチャーで得られたものはまた違った、市民の生活実感を垣間見ることができた。

今回の私の研修目的のひとつであった「市民レベルで取り組んでいる自然環境を守る活動の具体的な内容と問題点」に触れられる場面がなく、残念であったが、都市は、国民性やまちの成立過程、立地条件、人口規模などによって、さまざまな特質があることを感じた。したがって、同じ目的のための施策であつても、それぞれのまちの特質を生かしながら、住民が生活しやすい具体的な解決策を講じることが必要だと実感した。さらに、住民の理解と協力が施策実施の前提であり、行政がどのような方法で住民にアプローチし、住民の要求をフィードバックして生かしていくことが成功のポイントだと感じた。

今までは、新津の持つさまざまな特質を考えた、生活しやすい条件や解決すべき問題点を考えたことはなかった。しかし、この研修を契機に、新津市はどのような方向性を持って進もうとしているのか、その中で生活していくためには何が必要なのか、どうあるべきなのかなどを明確にしなければならぬと感じた。まず、新津市を外側から見つめ直すことから始めようと思っている。

フライブルグの交通とゴミ処理

神蔵 直樹 (北上)

フライブルグ市は、環境に対する配慮と交通弱者に対する安全で快適な空間の確保をテーマに、自動車交通の改革に取り組んでいます。その対策のひとつに「道路を縮小して、交通量を減らす」という、大変興味深いものがありました。

日本では道路を拡張して自動車にとって走りやすいまちづくりが常識ですが、フライブルグは、道路に障害物を置いたり、駐車場をなくしたりして、自動車が動きにくい街になっていきます。そのために交通量は少なくなり、歩行者や自転車にとって安全な空間になりました。また違法駐車車両がなく、信号機や道路標識の数も少ないので、街全体がとても美しく見えました。

自動車を使わないことは非常に不便ですが、その不便さを打ち消すほどのメリットがあることを考えると、新津市でも、市街地の車両進入を規制するなど、見做うものがあると思います。また、フライブルグ市は、各家庭に配布するカレンダーや資料、学校の教育プログラムの中で、常にゴミの現状やリサイクルを訴え、市民にゴミ処理に対する関心を深めてもらえるよう努力しています。一般家庭のゴミが七種類に分別され、ゴミの量の三分の一以上がリサイクルされているのを見ると、市民がゴミ対策に深い関心を持ち、積極的に協力しているのがよく分かります。

では、私たちの新津市はどう

に良いのか、そのコンセプトについて十分時間をかけて住民の理解を得ることはもちろんですが、決定したことに対しては、やり抜く強い意志が一番重要ではないかと感じました。そうでないか、戦災に遭いながら、以前とほぼ同じ街を造るというのではなかなかできるものではないと思います。もちろん以前の街が良質であったことはありますが、これがいかにもドイツらしくないと感じました。できればフライブルグへもう一度家を連れて来てみたいと考えています。新津市の自然環境、農業は守られるのか、車の増加から快適な居住空間は守られるのか、良い景観とは何か、ゴミの問題など。この研修は、二十一世紀にどのような社会をつくって次世代にバトンを渡していくべきなのかを改めて考えるいい機会になりました。

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

新春のおよろこび
申しあげます。

昨年は何かとお世話になり有難うございました。
本年もなにとぞよろしくお願い致します。

住む人を優しく包みこむイシカワの家。

時代は今
高耐久住宅

SHIKAWA 株式会社
イシカワ

(旧社名 石川組)
●本社/〒956 新津市大蔵738-1
(0250-22-2000)



寒い冬!

おめでとうございます。

風邪に負けない。クロスタニン食品
風邪を防ぐ。新素材テレビロン肌膏
お肌をしっとり。カツウラ化粧品

健康アドバイザー デリカ家 長崎屋内 (24)7936

和洋レストラン
さん1
と5つ

新年は
1月2日(火)から
営業いたします。

新津市古津駅前(朝日)

☎ 0250(23)0310